

令和7年度第1回(第18回) 瑞穂町地域公共交通会議資料

令和7年6月2日(月)
場所:瑞穂町役場 2階
会議室2-1,2-2



3
年度
令和

令和3年10月 コミュニティバス実証実験運行開始

5
年度
令和

【コミュニティバス】
運行評価基準を設定し、2路線の代替サービスへの移行を確認

【デマンド交通】
意見交換会を踏まえ、代替サービスは町内全域を対象としたデマンド交通を採用

6
年度
令和

【コミュニティバス】
運行計画の見直し、本格運行の開始、実証実験の総括

【デマンド交通】
実証実験運行の開始

【地域公共交通計画】
課題の整理、計画目標の設定

7
年度
令和

令和7年6月2日 令和7年度第1回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、デマンド交通利用者アンケート調査結果
【協議事項】デマンド交通実証実験の評価

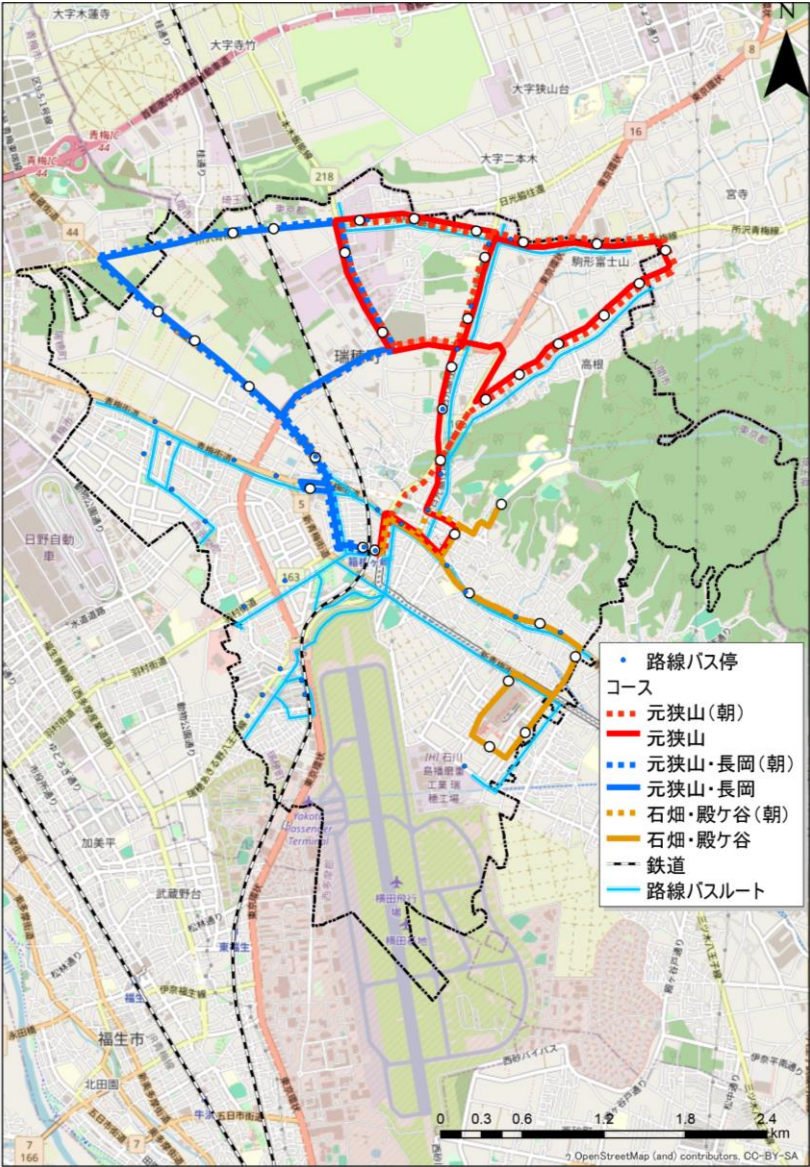
本日

令和7年8月 令和7年度第2回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、コミバスアンケート結果 【協議事項】地域公共交通計画に関する施策・事業

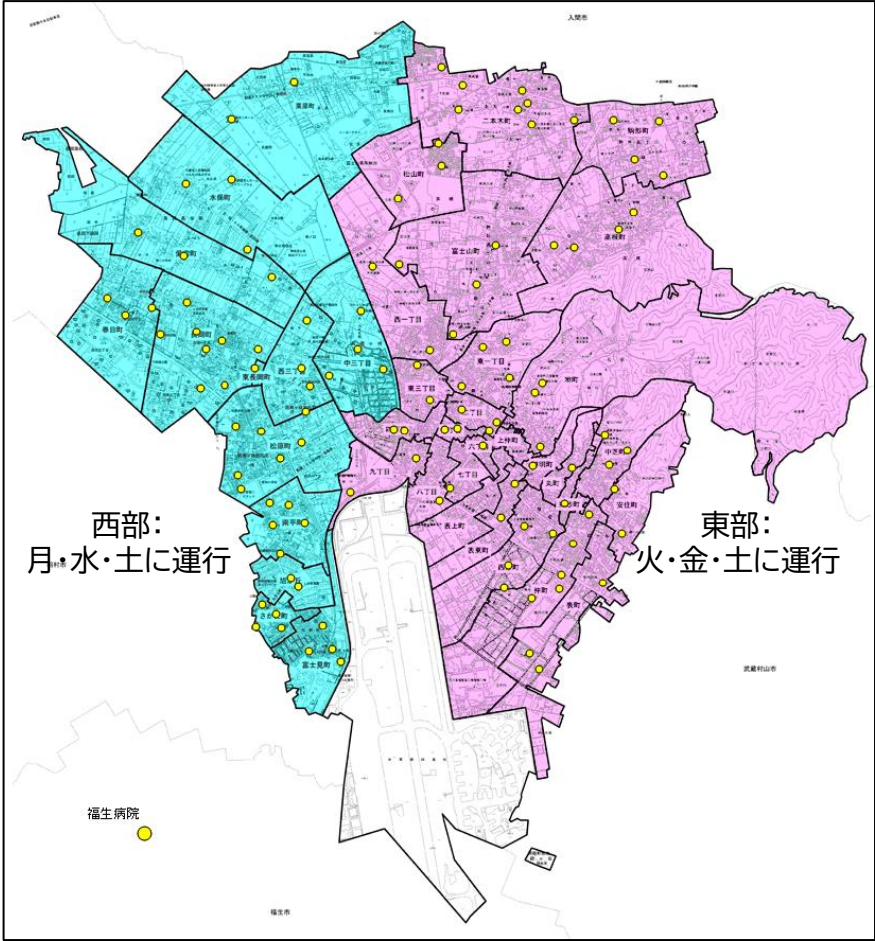
令和7年10～11月 令和7年度第3回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】地域公共交通計画の素案

令和7年11～12月 パブリックコメントの実施

令和8年2月 令和7年度第4回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】パブリックコメントを踏まえた地域公共交通計画案



町内を運行する路線バス・コミュニティバス路線



デマンド交通の地域区分

東 部	安住町、表町、仲町、中芝町、東砂町、西砂町、丸町、神明町、表東町、表上町、上仲町、旭町、東一丁目、西一丁目、二丁目、東三丁目、四丁目、五丁目、六丁目、七丁目、八丁目、九丁目、二本木町、駒形町、高根町、富士山町、松山町
西 部	中三丁目、西三丁目、松原町、長岡町、東長岡町、春日町、愛宕町、水保町、栗原町、旭が丘、さかえ町、富士見町、南平町

(1)瑞穂町コミュニティバス運行状況の 報告について

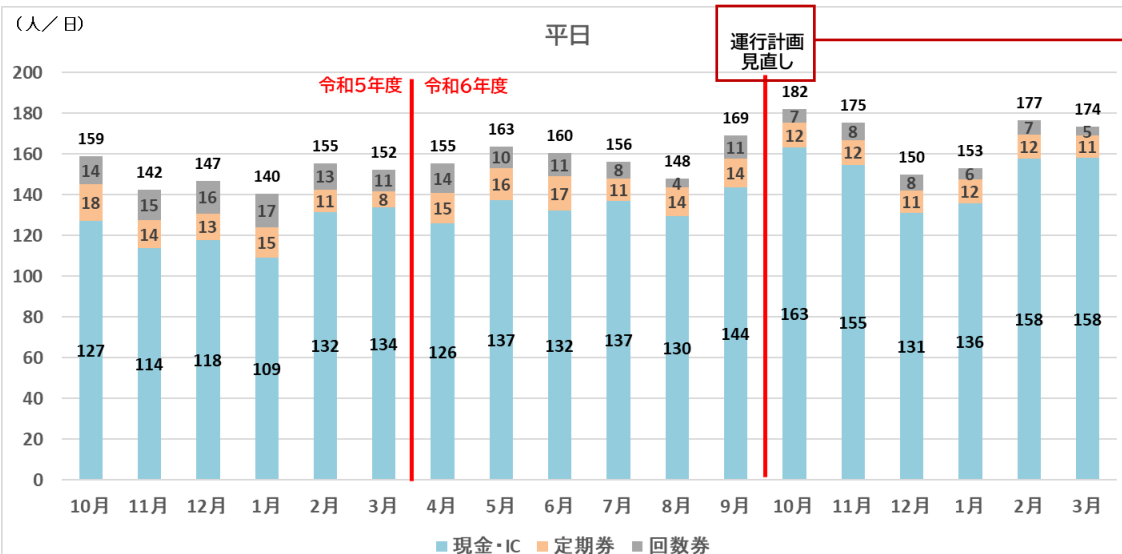
利用実績① コミバス1日あたりの利用者数の推移

- 平日・休日ともに運行計画の見直しを行った10月以降、毎月前年同月を上回るか同等になっている
- 10月のデマンド交通の運行開始によって、利用が減少するなどの影響は見られない

定期券: 平日に1日1回
利用するものとして計算

回数券: 販売した券の
枚数を、その月の
日数で除した値
を平日・休日それぞれ
の1日あたりの
利用者数として計算

※令和5年10月～令和
6年9月の値に箱根ヶ
崎・長岡コース、武蔵
野コースの利用者数
は含まずに算出

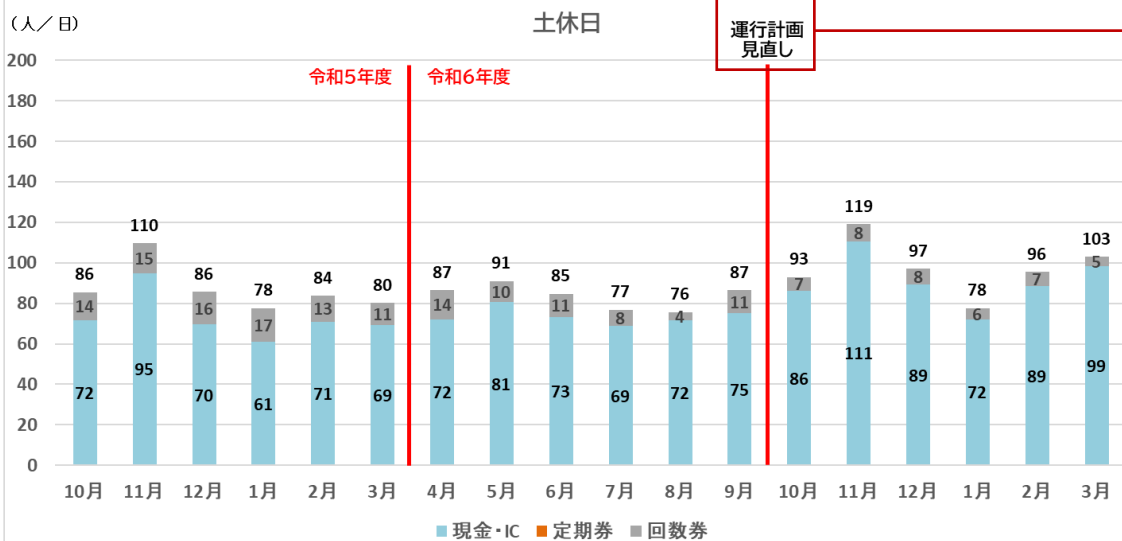


■ 運行計画見直し内容
元狹山・長岡コース:
箱根ヶ崎駅東口発の便
を元狹山コースに統合、
西口発・西口着の便に統
一

元狹山コース:
「瑞穂バイパス南」「駒形
富士山」バス停を経由す
る形に変更

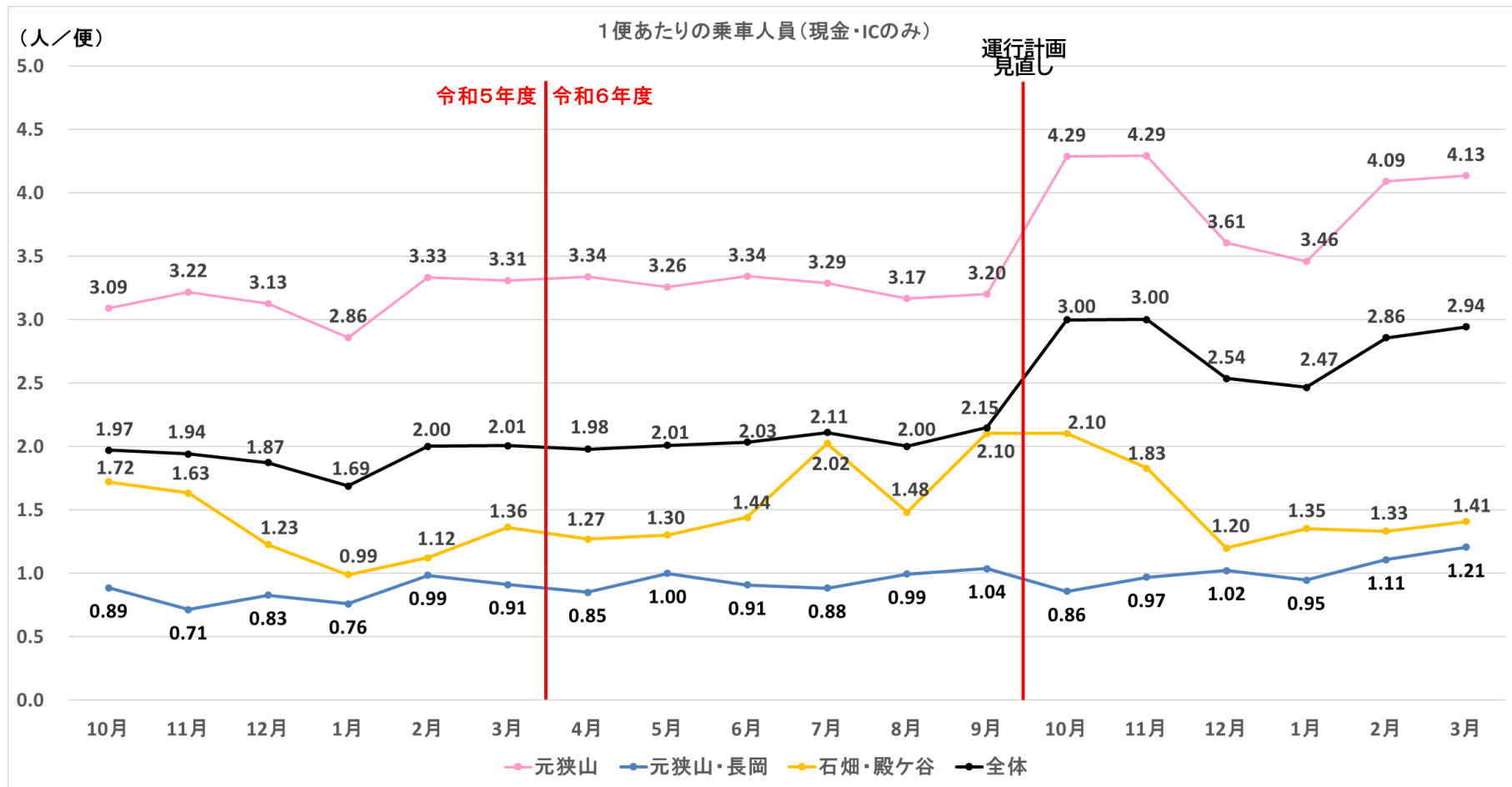
石畑・殿ヶ谷コース:
利用の少ないバス停の
廃止、時間帯によりふれ
あいセンターへの立ち寄
りを省略

瑞穂町デマンド交通:
実証実験運行開始



運行実績② コミバス1便あたりの乗車人員

- 全体の値は10月の運行計画見直し以降は前年同月を上回っており、また2～3月はすべての路線において前年同月を上回っている
- 2月～3月において元狭山コースは4.0人/便を、元狭山・長岡コースは1.0人/便を上回っている
- 石畑・殿ヶ谷コースは10月以降減少傾向だが、前年同様の傾向となっている



※令和5年10月～令和6年9月の「全体」の値に箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースの利用者数は含まずに算出

運行実績③ コミバス概算収支率(10～3月)

- 2コースの運行終了やルートの見直しで運行経費が削減されたことで、全体の概算収支率は上半期より改善し10.0%
- 元狹山・長岡コースの収支率が改善したことで、すべてのコースで5.0%を上回る

■令和6年度10-3月収支率(概算)

	元狹山	元狹山・長岡	石畑・殿ヶ谷	全体
運行経費(百万円)	23.5	12.2	6.0	41.7
収入(百万円) ※定期券、回数券、広告収入を含む	3.0	0.7	0.5	4.2
町負担額(百万円)	20.5	11.4	5.5	37.5
収支率(%)	12.7	5.9	7.9	10.0
上半期収支率(%)	11.0	4.0	5.8	7.1
昨年度からの増減(ポイント)	+1.7	+1.9	+2.1	+2.9

※小数点第二位以下を四捨五入しているため、全体が各路線の合計と一致しない等計算が合わないことがある

※運行経費は、全体の運行経費を走行距離の比に応じて各路線に配分して計算している

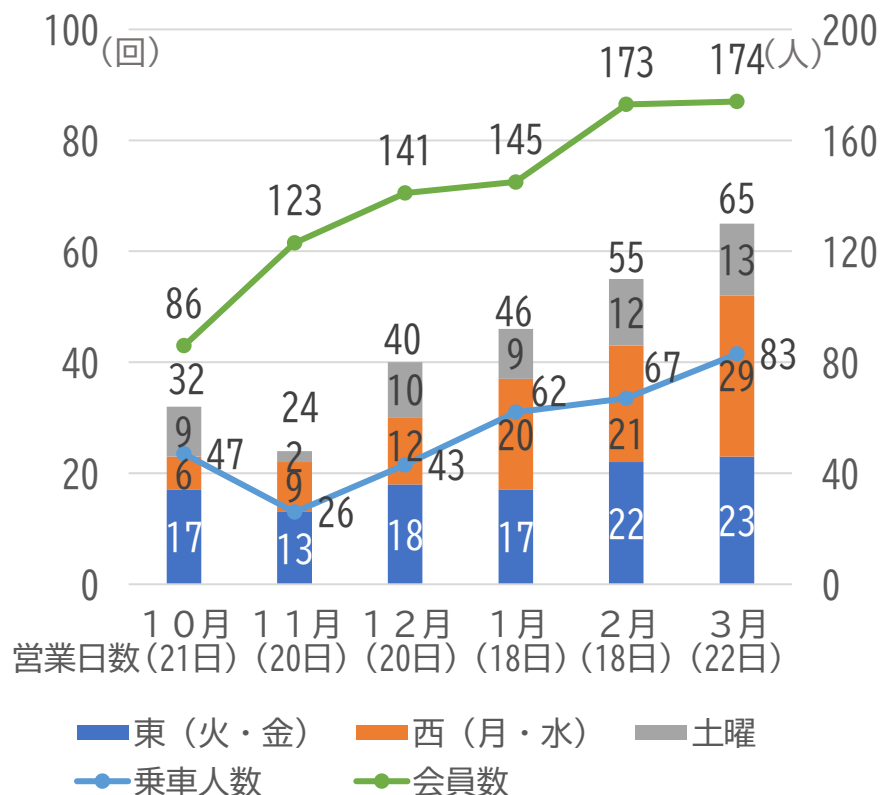
※上半期の全体の収支率は、箱根ヶ崎・長岡、武蔵野の2コースを含んだもの

(2)瑞穂町デマンド交通実証実験運行状況の 報告について

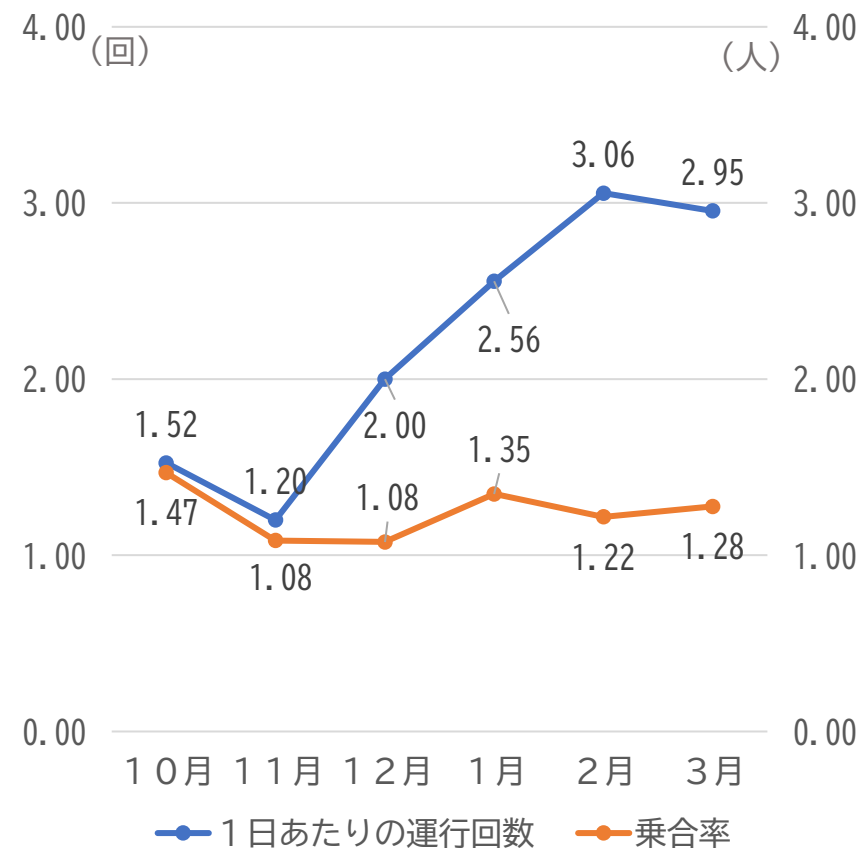
地域	町内全域
対象者	満70歳以上の方、障害者手帳の所持者、妊産婦 ※町内在住者に限る、事前登録の必要あり
運行日	東部…火曜日・金曜日・土曜日 西部…月曜日・水曜日・土曜日 週5日運行(木曜日・日曜日・祝日・年末年始は運休)
運行時間	午前9時～午後5時(8時間)
乗降場所	計118箇所(町内の公共施設、医療機関、商業施設、金融機関等の他、各地区内にも設置)
車両	ワンボックスカー1台
運賃	400円(起点・終点のいずれかが公立福生病院の場合は600円)
決済手段	現金(クレジットカード、二次元コードによる決済の導入は継続的に検討)
運賃收受	乗車時に運転手に支払い
割引	【相乗り割引】登録者を含めた2人以上で同乗する場合、運賃から1人当たり100円を割引 【障がい者割引】障害者手帳を所持する場合、提示すると200円割引
利用方法	利用日の2週間前から30分前までに予約が必要(電話、インターネット)

- ・ 会員数の増加に伴い、運行回数、乗車人数も右肩上がりに増えている
- ・ 運行開始直後の10月は東側の利用が西側を大きく上回っていたが、3月時点では逆転している
- ・ 3月の1日あたりの平均運行回数は3回程度、乗合率(1回あたりの平均乗車人数)は1.28となっている

■運行回数および乗車人数の推移



■1日あたりの運行回数、乗合率



- 利用の多い乗降場として、「ジョイフル本田」「松山公園」が毎月上位5位以内に入っているほか、「新井クリニック」「高水医院」「福生病院」などの医療機関への移動のニーズが見られる
- 乗降ポイントごとの通算乗降回数を見ると、町内全域で満遍なく乗降されている
- 3月までの半年間の運賃収入は10万円程度であり、**収支率は運行終了したコミュニティバスの箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コース(2.1%)を下回る1.8%**となっている

■利用の多い乗降場

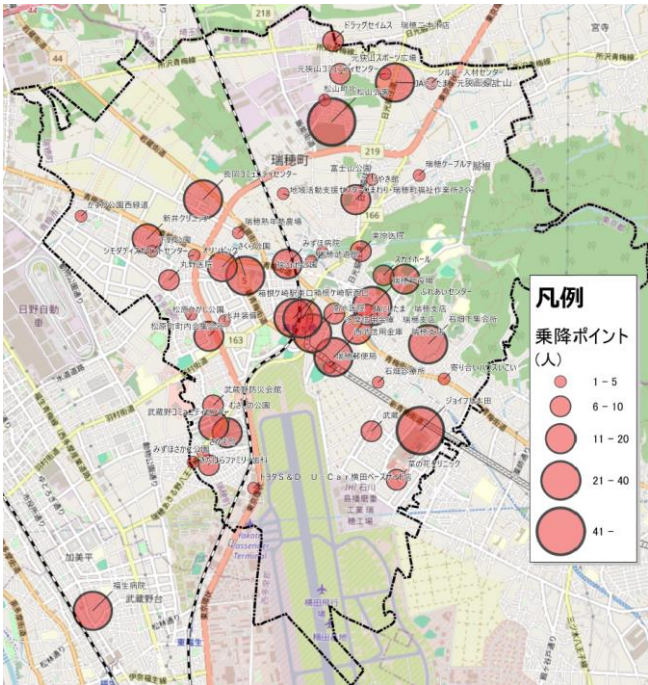
	10月		11月		12月	
1位	ジョイフル本田、松山公園	8回	松山公園	8回	ジョイフル本田	10回
2位	-	-	ジョイフル本田	6回	松山公園、高水医院	8回
3位	西武信用金庫 瑞穂支店	6回	オリンピック、さくら公園、箱根ヶ崎駅西口、福生病院	4回	-	-
4位	新井クリニック	4回	-	-	石畑下集会所、瑞穂町役場	6回
5位	瑞穂町役場、箱根ヶ崎駅東口、箱根ヶ崎駅西口、長岡コミュニティセンター、JAにしたま 元狹山支店	3回	-	-	-	-

	1月		2月		3月	
1位	石畑下集会所、オリンピック	12回	ジョイフル本田	14回	ジョイフル本田	22回
2位	-	-	石畑下集会所	12回	JAにしたま 元狭山支店	13回
3位	ジョイフル本田	8回	福生病院	9回	箱根ヶ崎駅西口	12回
4位	JAにしたま 元狭山支店	7回	けやき館	7回	石畑下集会所、長岡コミュニティセンター	9回
5位	高水医院、松山公園	6回	オリンピック、JAにしたま元狭山支店、松山公園、むさしの公園	6回	松山公園、オリンピック	8回

■収支率

	運行経費	収入	行政負担額	収支率	1日あたり行政負担額
瑞穂町デマンド交通(10～3月)	5,686,120円	104,100円	5,582,020円	1.8%	46,517円/日
瑞穂町デマンド交通(年間見通し)	11,372,240円	208,220円	11,164,040円	1.8%	46,517円/日
武蔵野コース、箱根ヶ崎・長岡コース(令和5年度年間)	15,037,331円	312,407円 ※広告収入・燃料補助金を除く	14,724,924円	2.1%	15,506円/日

■乗降ポイントごとの通算乗降回数(6か月間)

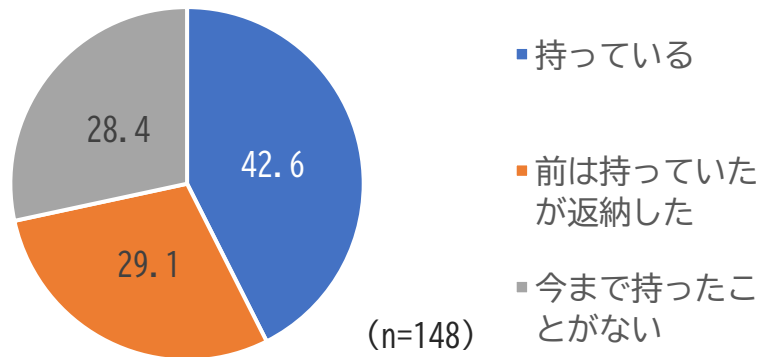


(3) 瑞穂町デマンド交通利用者アンケートの結果の報告について

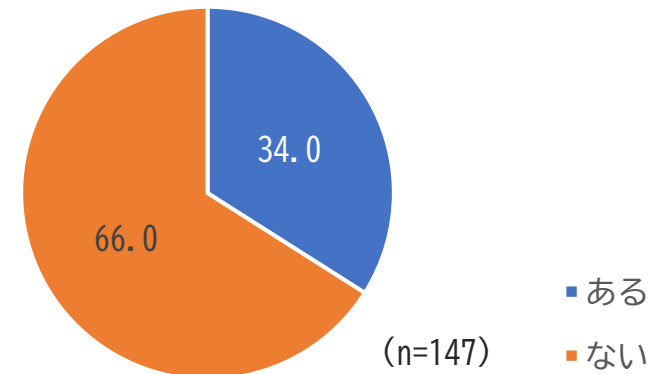
目的	デマンド交通実証実験の評価や、改善事項を明らかにするため
調査項目	[共通] ・ 回答者属性 ・ 登録した理由 ・ 利用経験の有無 [利用経験のない方] ・ 使わなかった理由 [利用経験のある方] ・ 利用の満足度 ・ 外出頻度 ・ 利用頻度 ・ 外出頻度が増加したか ・ 利用の際に困っていること
調査対象	瑞穂町デマンド交通の利用登録を行っている町民
調査方法	配布:郵送／回収:郵送・WEB併用
実施時期	4/24(木)～5/14(月)
回収率	78.8%(配布189通・回収149件)

- 運転免許証を持っているのは42.6%で、運転することがあるのは34.0%
- 地域は元狹山地区、武蔵野地区で2/3程度を占め、年代では75～79歳が33.6%で最も多い

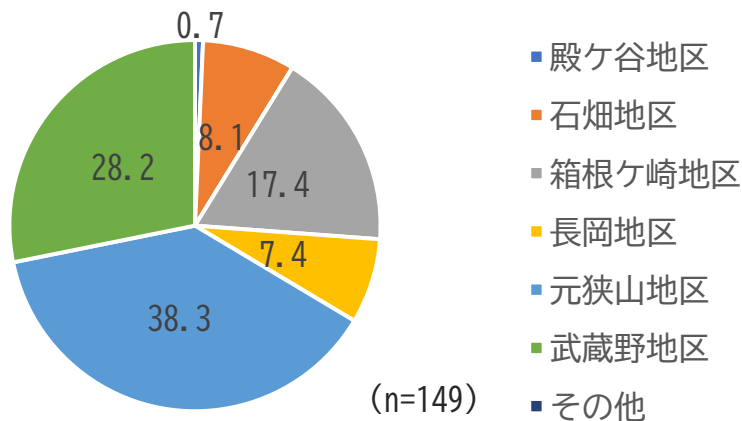
Q1 車の運転免許証をお持ちですか。（1つだけ）



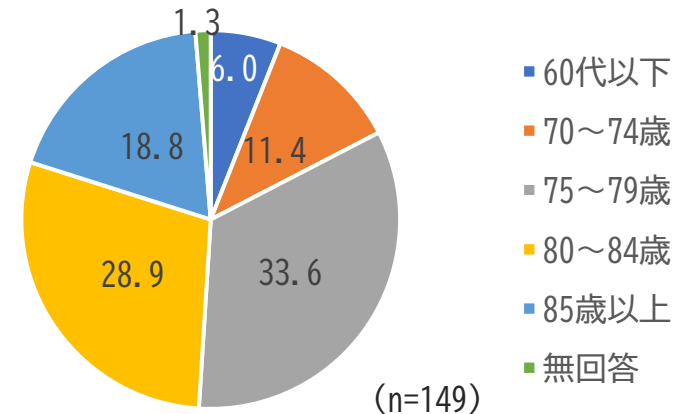
Q2 ご自身で車を運転することはありますか。（1つだけ）



Q3 お住まいの地域を教えてください。（1つだけ）

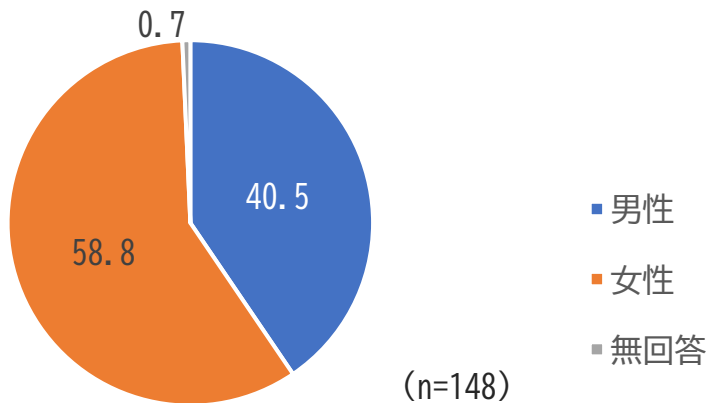


Q4 ご年齢を教えてください。（1つだけ）

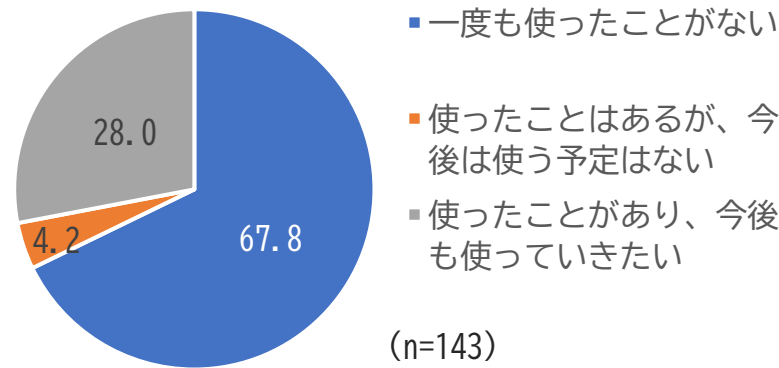


- 利用経験がない人が67.8%を占めている
- 登録理由は「まだ使う予定はないが、将来への備えとして」が53.5%で最も高い

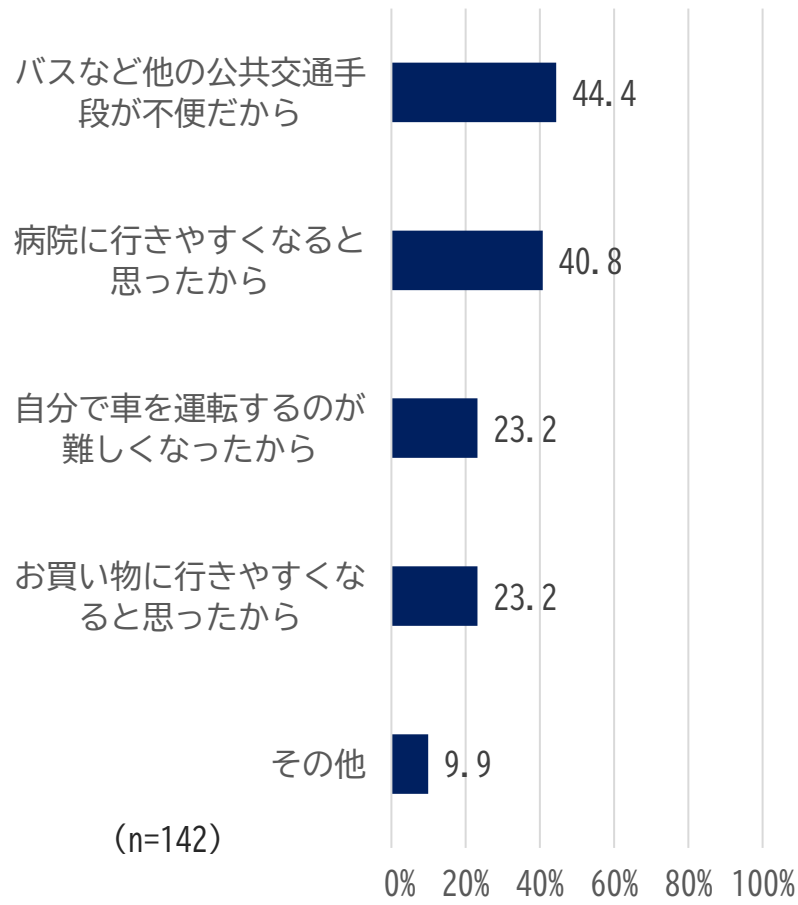
Q5 性別を教えてください。（1つだけ）



Q7 「チョイソコみずほまち」を使ったことがありますか。（1つだけ）



Q6 登録をされた理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

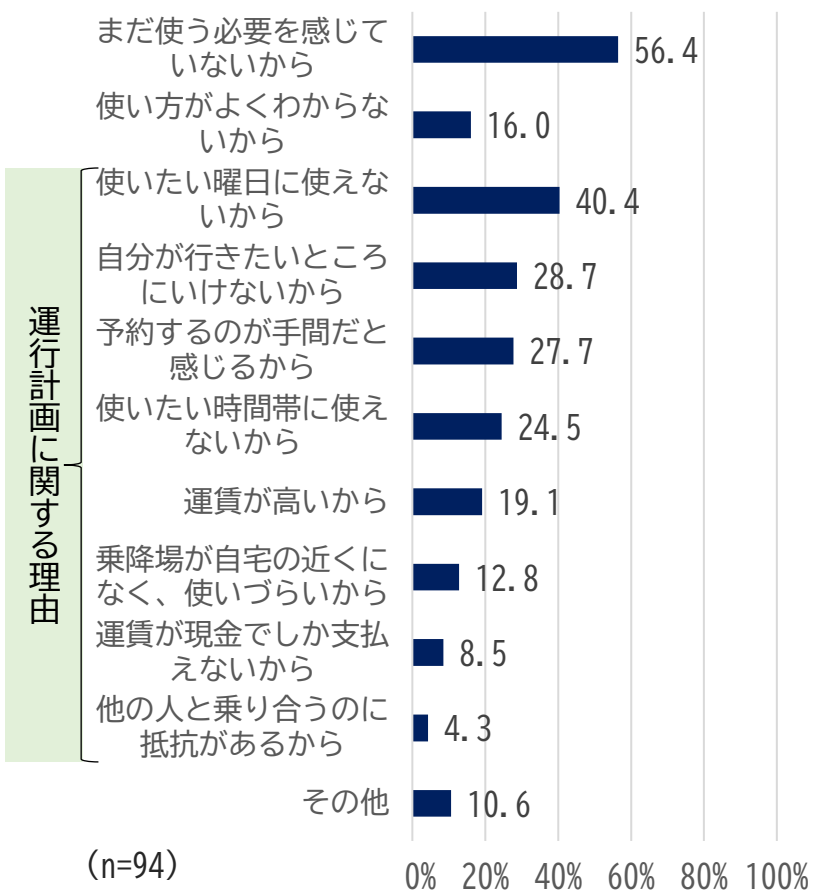


利用者アンケート集計結果③ 使わない理由、利用者の満足度 16

- 利用経験のない人が使っていない理由では、「まだ使う必要を感じていないから」が56.4%で最も高く、「使いたい曜日に使えないから」が40.4%で2番目に高い
- 利用経験がある人の満足度では、「満足している」と「やや満足している」の合計で7割近くを占め、スコア化した際の平均値もコミュニティバスを上回る

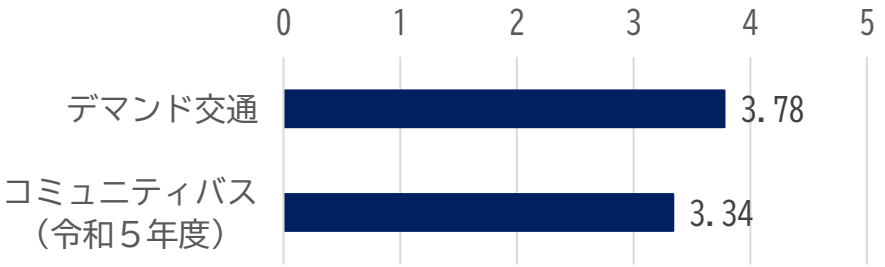
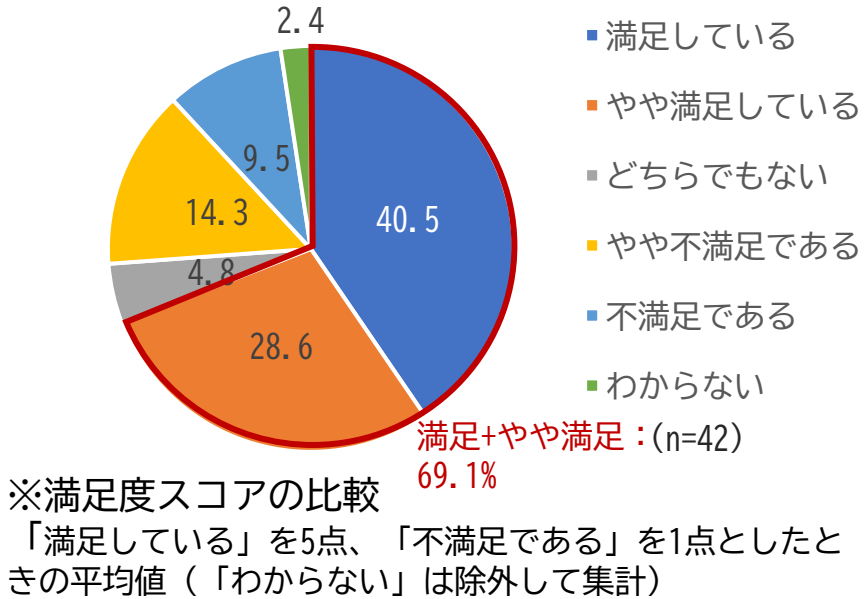
[利用経験のない人のみ]

Q8 これまで一度も使わなかった理由を教えてください。（あてはまるものすべて）



[利用経験のある人のみ]

Q9 「チョイソコみずほまち」のご利用について、満足度を教えてください。（1つだけ）

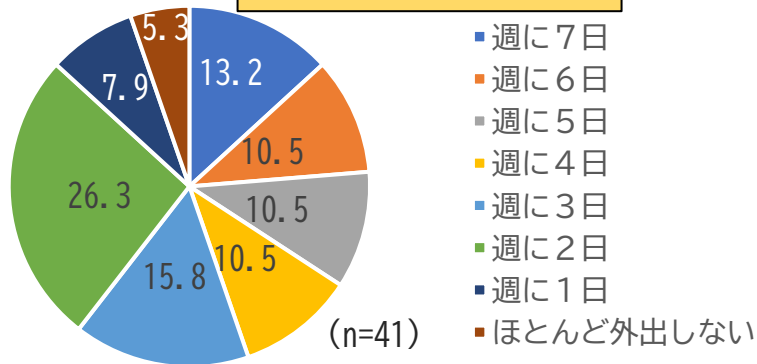


- ・ 利用経験がある人の外出頻度は、「週に2日」が26.3%で最も高く、平均値では週に3.5日程度
- ・ 利用頻度は「月1日より少ない」が42.5%で最も高く、週に1日以上利用しているのは15.0%
- ・ 利用によって外出頻度が増えたと感じている人は18.4%

[利用経験のある人のみ]

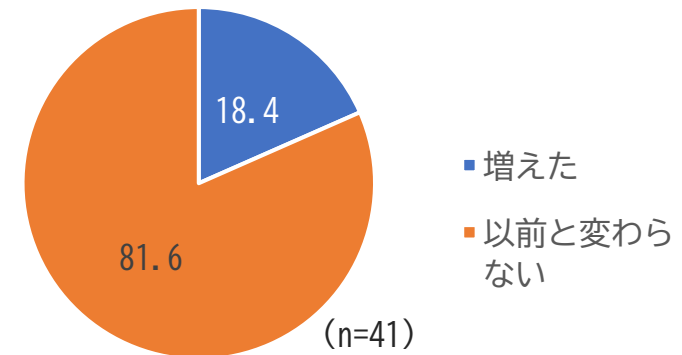
Q10 現在、週に何日くらい外出していますか。
(1つだけ)

→平均すると3.5日/週



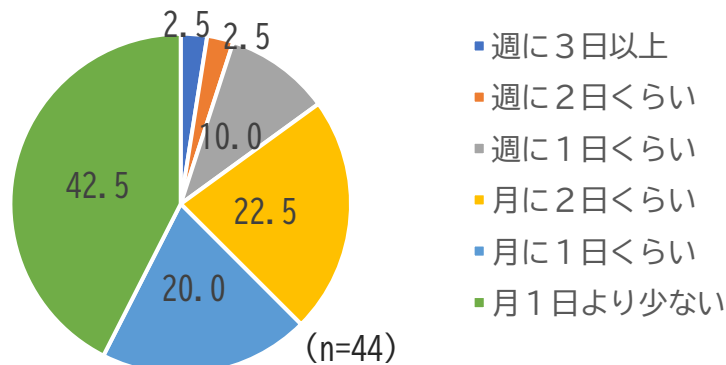
[利用経験のある人のみ]

Q12 「チョイソコみずほまち」を利用するようになったことで、外出することは増えましたか。(1つだけ)



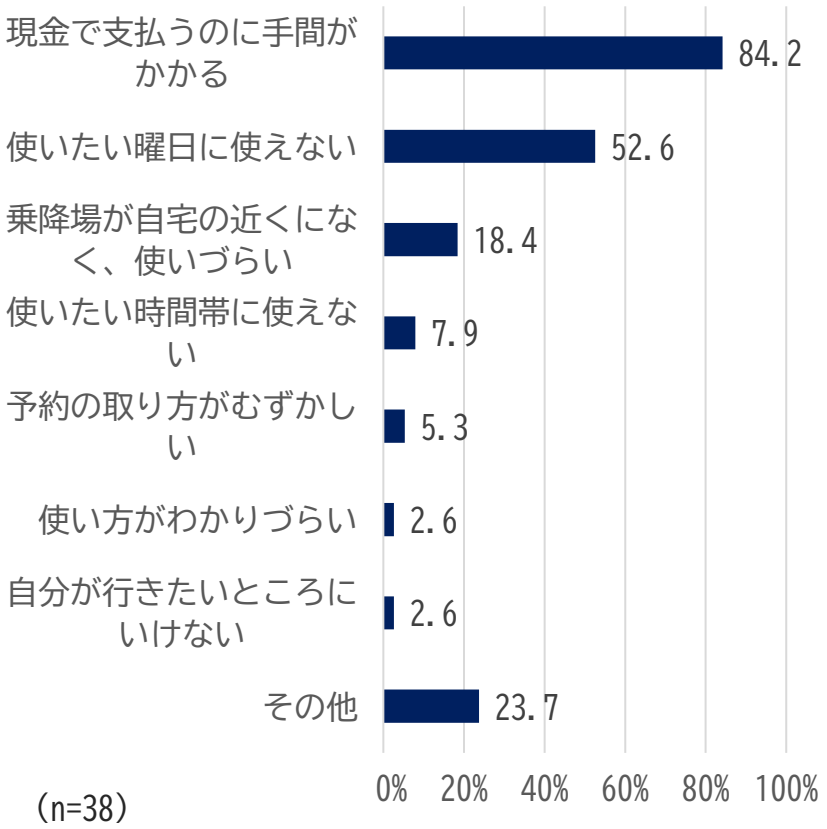
[利用経験のある人のみ]

Q11 現在、どのくらい「チョイソコみずほまち」を利用して外出していますか。(1つだけ)

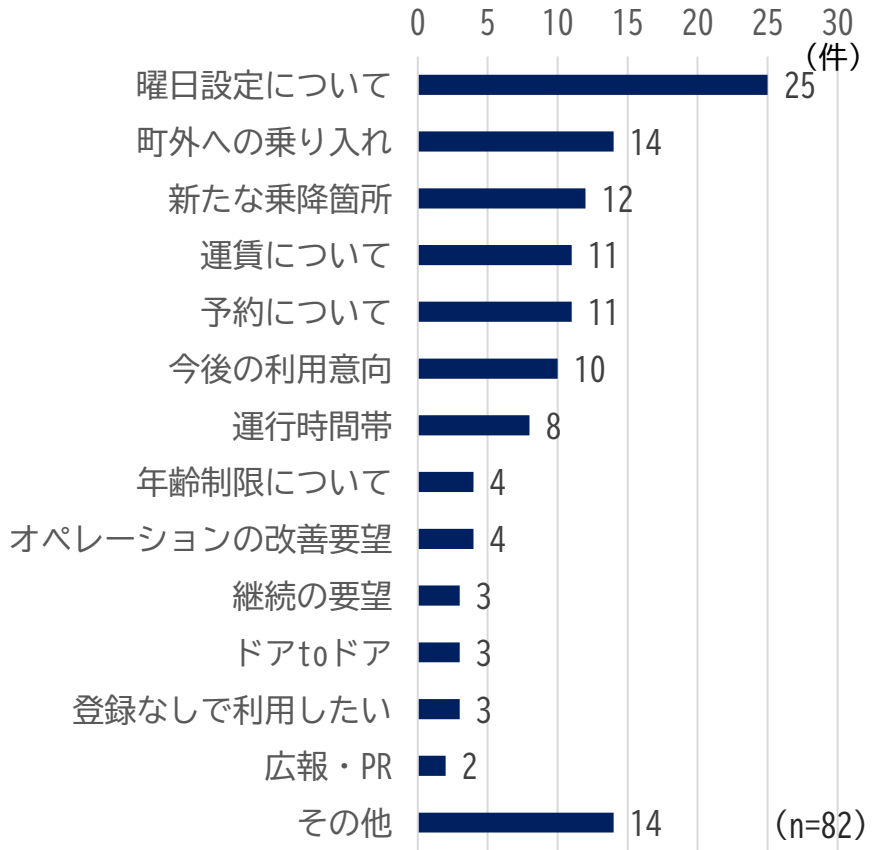


- 利用経験がある人が困っていることでは、「現金で支払うのに手間がかかる」が84.2%で最も高く、「使いたい曜日に使えないから」が52.6%で2番目に高い
- 自由意見では、曜日設定に関する意見（「運行曜日が限定されていて使えない」など）が最も多い

[利用経験のある人のみ]
Q13 ご利用の際にお困りのことはありますか。
（あてはまるものすべて）



[全員]
「チョイソコみずほまち」についてご意見があれば、
ご自由にお書きください。



(4) 瑞穂町デマンド交通実証実験の 評価について

実証実験運行の評価

昨年度検討した基準に沿って評価すると、満足度はコミバスより高く、収支率はコミバス廃止2路線より低い
ため、「類似の運行で経費が抑えられる運行形態への変更の検討」となる

- 利用者の満足度(運行計画)と利用実態の両面から実証運行を評価
- 利用実態の評価は利用者の外出頻度の増減、収支率で行う

①満足度:

利用者アンケートで5段階評価を行い(満足が5点、不満足が1点)、
平均3.5点を上回るかどうか⇒3.78点

※R5調査でコミバス利用者の満足度は平均3.34点

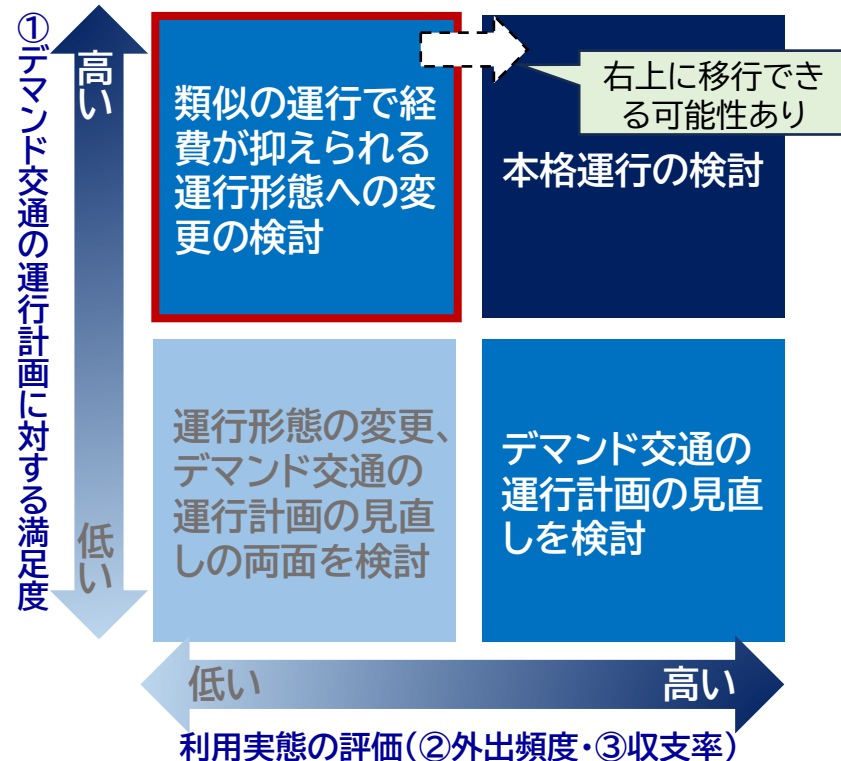
②外出頻度:

利用開始前より外出頻度が上昇するか⇒利用者の18.4%は上昇

③収支率:

廃止した箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースの2路線を上回るか⇒1.8%

※R5年度の2コース合計の概算収支率は2.1%



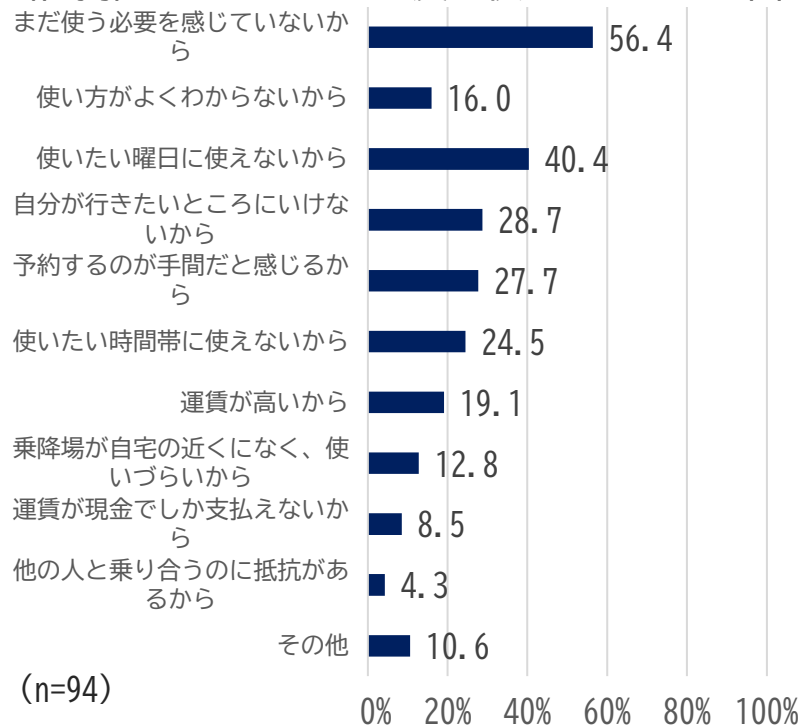
出典：令和6年第2回地域公共交通会議資料

一方で、下記の理由より現時点で判断するのは時期尚早と考えられる

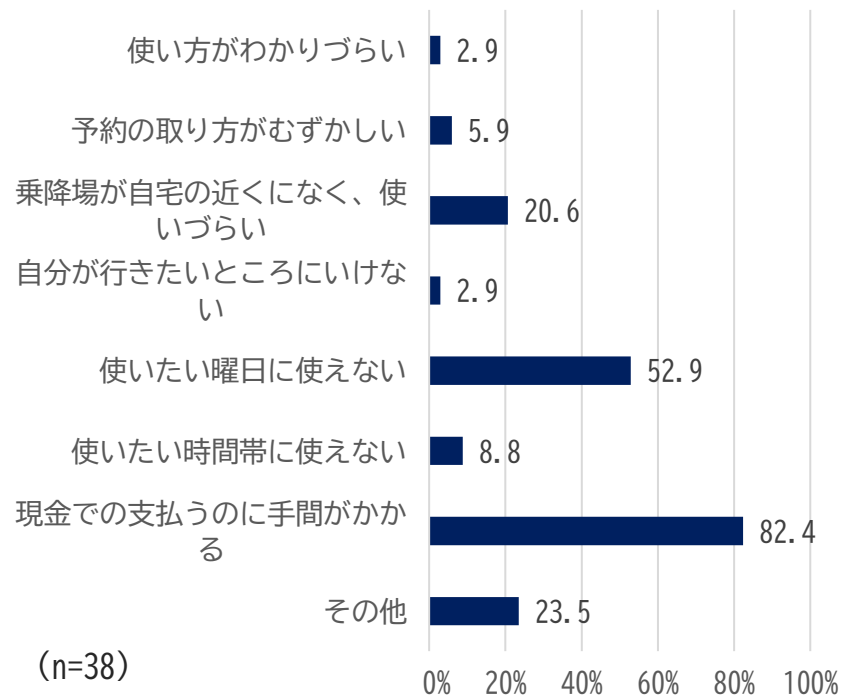
- ① 10頁より登録者増に合わせ利用は増加しているが、登録者はまだ対象者の2%程度※であり、今後増加する伸びしろがある ※令和7年3月時点の町内の70歳以上人口7,236人に対し、登録者174人
- ② 利用経験のない登録者の中でも、理由が「使い方がわからない」「予約するのが手間」など、潜在的なニーズが期待できる層が一定程度見られる
- ③ アンケート調査結果から、運行計画に対する不満があると考えられる(次頁参照)
- ④ 11頁より町内全域で利用されている実績があり、従来のバス網でカバーできていなかった高齢者等の移動手段として機能している

- Q8、Q13から、「使いたい曜日に使えない」がいずれも2番目に高くなっており、地域ごとに利用できる曜日の区切りがあることが利用の障壁になっていることが伺える
- 9頁より、現時点では1日平均3便程度の運行とまだ余裕があり、また東西どちらも利用できる土曜についても多い日で5便程度の運行

(再掲) Q8 これまで一度も使わなかった理由



(再掲) Q13 ご利用の際にお困りのこと



➡以下2点の検証のため、運行計画を見直し、**実証実験を1年間延長したい**

- ①東西の区分を取り払うことによって、どの程度利用が増えるのか
- ②東西の区分を取り払うことで、利用できない状況が生じないか

- ①10月以降の運行について(実証実験運行の延長の是非)
- ②運行計画で、他に見直すべき事項はないか

表.瑞穂町デマンド交通の実証運行運行計画案(令和7年10月以降) ※変更点は赤字箇所のみ

地域	町内全域 ※10頁より町内全域で乗降が見られ、対象地域の限定による運行の効率化は考えづらい
対象者	満70歳以上の方、障害者手帳の所持者、妊産婦 ※町内在住者に限る、事前登録の必要あり
運行日	月・火・水・金・土の週5日運行(木曜日・日曜日・祝日・年末年始は運休) ※町内全域の登録者が、週5日利用可能(キャンペーン期間限定)
運行時間	午前9時～午後5時(8時間)
乗降場所	計118箇所(町内の公共施設、医療機関、商業施設、金融機関等の他、各地区内にも設置)
車両	ワンボックスカー1台
運賃	400円(起点・終点のいずれかが公立福生病院の場合は600円)
決済手段	現金(クレジットカード、二次元コードによる決済の導入は継続的に検討)
運賃収受	乗車時に運転手に支払い
割引	【相乗り割引】登録者を含めた2人以上で同乗する場合、運賃から1人当たり100円を割引 【障がい者割引】障害者手帳を所持する場合、提示すると200円割引
利用方法	利用日の2週間前から30分前までに予約が必要(電話、インターネット)

③利用促進に向けた取り組みの内容(事務局案へのご意見)

表.利用促進に向けた取り組み(事務局案)

施策	内容	実施時期
広報みずほへの掲載	(掲載する事項) • 運行の概要 • キャンペーン内容の周知(町内全域の登録者が週5日利用可能となること等) • 利用のモデルケース(利用することでどのようなことができるようになるか) • 実際に使っている方からは高い満足度を得られていること	会議終了後できるだけ速やかに実施
町のHP・SNSでの周知		
ポスターの掲示		
チラシの配布		
出張説明会の実施	(説明する事項) • 運行の概要 • 予約・乗車の仕方 • 利用のモデルケース(利用することでどのようなことができるようになるか)	随時
「チョイソコ通信」の発送	(掲載する事項) • キャンペーン内容の周知(町内全域の登録者が週5日利用可能となること等) • 現在の収支率等や、利用状況が改善しない場合運行が継続できない可能性があること • 予約・乗車の仕方 • 利用のモデルケース(利用することでどのようなことができるようになるか)	会議終了後できるだけ速やかに実施
メールの配信		

令和
6年度

令和7年3月31日 令和6年度第4回地域公共交通会議

コミュニティバス

【報告事項】実証実験の総括、
利用実績、意見交換会の実施

デマンド交通

【報告事項】利用実績、意見交
換会の実施

地域公共交通計画

【報告事項】調査結果
【協議事項】課題の整理、計画
目標の設定

令和
7年度

令和7年6月2日 令和7年度第1回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、デマンド交通利用者アンケート調査結果
【協議事項】デマンド交通実証実験の評価

本日

令和7年6～7月 路線バスOD調査、コミバス利用者アンケート実施

令和7年8月 令和7年度第2回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、コミバスアンケート結果 【協議事項】地域公共交通計画に関する施策・事業

令和7年10～11月 令和7年度第3回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】地域公共交通計画の素案

令和7年11～12月 パブリックコメントの実施

令和8年2月 令和7年度第4回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】パブリックコメントを踏まえた地域公共交通計画案